

東日本大震災現地NPO応援基金（第2期）
— 被災者の生活再建を支援する現地NPOの組織基盤強化 —

第8回 選考結果のご報告

2014年10月

認定特定非営利活動法人 日本NPOセンター
特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド

東日本大震災現地NPO応援基金(第2期一般助成)
 - 被災者の生活再建を支援する現地NPOの組織基盤強化 -

第8回助成 助成対象一覧

	組織基盤強化テーマ	団体名／代表者名	所在地	助成額
新規	被災女性の雇用創出と高齢者支援を目指した現地NPOの基盤強化	一般社団法人 ワタママスマイル 代表理事 菅野 芳春	宮城県 石巻市	250 万円
新規	「寄付が集まり、人が集うNPOへ」大改造計画	特定非営利活動法人 いわき自立生活センター 理事長 長谷川 秀雄	福島県 いわき市	250 万円
継続	被災地における住民交流会活動実施のための主力スタッフの人材育成と認定NPO法人の取得に向けた事務局体制の強化	特定非営利活動法人 サンガ岩手 理事長 吉田 律子	岩手県 盛岡市	200 万円
継続	復興公営住宅における共助型コミュニティ構築と継承を目指した組織基盤強化	あすと長町仮設住宅共助型 コミュニティ構築を考える会 代表 飯塚 正広	宮城県 仙台市	200 万円
助成件数:4件(新規2件、継続2件) 助成総額:900万円(新規500万円、継続400万円)				

*第8回助成は2014年6月23日～7月7日までの応募について9月に選考し助成が決定したもの。

*助成期間は2014年10月1日から2015年9月30日までの1年間。

*あすと長町仮設住宅共助型コミュニティ構築を考える会は第2期第3回助成、第6回助成の助成対象団体。

サンガ岩手は第2期第4回助成、第6回助成の助成対象団体で、何れも継続して助成することとなった。

第8回助成 選考総評

「被災者に寄り添う現地NPOの組織基盤強化のために」

選考委員長 島田 茂

【現地NPO応援基金の概要】

東日本大震災発生から3年半が経過し、仙台市など復興住宅への入居が始まっている地域もあるが、未だに多くの方々が仮設住宅で生活をしている。東北特有の‘やませ’で霧に包まれた夜など、山間部で孤立した仮設住宅で暮らしている方々の寂しい生活が想われる。岩手、宮城、福島3県では計2,597人が行方不明のままとなっている。また、避難先などで亡くなる「関連死」は3県で3,000人を超えるなど、震災被害は今も拡大し続けている。特に、家族を失い悲しみが癒えず先行き不安な状況で暮らしている方々の心のケアや高齢者の孤独死を予防する見回りが求められている。一方で、現地に赴くボランティアは減少し、他県から支援をしてきた多くのNPOも撤退してきた。東日本大震災以降も地球の気候変動によって、多くの地域で台風や集中豪雨、土砂災害や竜巻被害をもたらし、9月末には御嶽山の噴火被害など、全国でのNPOによる支援活動も分散してきている。そのような中で現地NPOの存在は重要度を増してきている。

【一般助成の目的】

【一般助成】は、「組織基盤強化」として、「今後の活動を充実していくために組織の力をつけていくこと」を目的とし、NPOの人材、資金、情報などの運営基盤の強化を主な助成内容としてきた。また、組織基盤強化につながる基礎的な支援ニーズ調査も助成の対象とした。助成の対象となる団体は、岩手県、宮城県、福島県において被災した住民の生活再建を直接支援する「現地NPO」または、それらの団体の「現地ネットワーク組織」あるいは「現地中間支援組織」とした。【一般助成】としては、応募団体のミッション・ビジョン・活動内容・実績を鑑みつつ、あくまで組織の自立かつ長期的な運営基盤の確立を審査基準としてきた。

【第8回助成の選考経過】

第8回助成（2014年10月～2015年9月迄の1年間以内）の助成金額は、1件当たり300万円以内（助成総額は新規助成・継続助成を合わせて1,300万円）で募集を行い、7月7日に締め切り、新規助成への応募が19件、継続助成への応募が5件、計24件の応募があった。選考委員は、全ての申請書に目を通し、各選考委員が事前審査を行い、7月29日に本選考委員会を行った。新規助成に関しては、震災以前から活動していた団体が3件、震災後一年以内に立ち上げた団体が3件、2年目以降に立ち上がった団体が13件で、そのうち4件の申請は活動実績が1年未満の団体であった。新規助成申請団体に関しては、活動実績が乏しい団体が多く、申請計画も組織基盤強化のためというより、助成金が無ければ活動資金が無いという団体もあり、団体として組織基盤強化以前の申請であった。そのため、選考委員の評価は一致点が多か

った。継続に関しては、申請 5 件の内 3 件が助成 2 年目、2 件が助成 3 年目の団体であった。審査の結果、【新規助成】候補 2 件、補欠 1 件【継続助成】候補 3 件（2 年目 1 件、3 年目 2 件）が選出され、その後事務局による現地ヒアリングを実施した。

9 月 4 日の選考委員長決裁会合では、事務局によるヒアリングの結果報告を受け、新規団体の内 1 団体は申請内容と実情が異なり、助成対象外とした。継続に関して、助成 2 年目の 1 団体は、東日本大震災現地 N P O 応援基金〔特定助成〕において、ほぼ内容が重複する助成が決定しており採択を見送った。選考委員会で選出した 6 件のうち、最終的に新規 2 件・継続 2 件を助成決定とし、助成総額 900 万円（新規助成 500 万円、継続助成 400 万円）を決定した。

【今後の方針】

東日本大震災現地 N P O 応援基金〔一般助成〕は、震災直後の混乱の中で支援がスタートした第 1 期、そして、組織の持続性強化を目指した第 2 期 8 回と合計 9 回にわたり組織基盤強化のために支援を継続してきた。日本各地の個人・団体・企業、そして、海外から 2014 年 9 月末までの累計で約 2 億 3,033 万円の寄付を頂き、合計 74 件、総額 1 億 8,083 万円の助成を行うことができた。これまで寄付をしていただいた方々に心から感謝申し上げたい。

現地 N P O の多くは、復興にかける思いや被災した方々に寄り添いたいという個人の尊い熱意と行動力から始まり、仲間を突き動かし、グループや団体となり支援を開始した。自己資金だけでは支援活動の継続はできず、会費や寄付、そして、民間助成金や行政委託費を獲得して支援活動を行ってきた。残念なことに、震災後幾つかの団体は、活動に集中するあまり、組織の合意形成がされず、経理が不鮮明となり、関係者に不信感を与える結果となり、活動の継続が困難となっている。被災された方々の復興を伴走するためには、自らの組織が自立を目指していかなくてはならない。多くの現地 N P O は、役員やスタッフ自らが被災している方々が多いなかで、自立していくことは困難であるが、尊い寄付や助成金などの支援を得るためにも組織としての民主的な合意形成（ガバナンス）や会計の透明性に努力をして欲しい。そのお手伝いをするために、今後現地 N P O 応援基金は、これまで支援をしてきた団体の組織基盤強化をするために、助成を継続する。

* * *

第 8 回助成 選考委員会

委員長	島田 茂	公益財団法人日本 Y M C A 同盟	総主事
委員	磯辺 康子	神戸新聞社編集局社会部デスク	編集委員
委員	栗田 暢之	特定非営利活動法人レスキューストックヤード	代表理事
委員	黒田 かをり	一般財団法人 C S O ネットワーク	理事・事務局長
委員	田尻 佳史	認定特定非営利活動法人日本 N P O センター	常務理事
委員	谷本 有美子	公益社団法人神奈川県地方自治研究センター	研究員
委員	堀江 良彰	認定特定非営利活動法人難民を助ける会	常任理事・事務局長

第8回助成概要と選考理由

<新規助成>

テーマ： 被災女性の雇用創出と高齢者支援を目指した現地NPOの基盤強化

団体名： 一般社団法人 ワタママスマイル（宮城県石巻市）

主な活動地域： 宮城県石巻市

【選考理由】

ワタママスタイルは、被災女性の雇用の場の創出、弁当宅配など「食」を通じた高齢者の支援に取り組んでおり、いずれも東日本大震災の被災地復興に重要な事業となっている。

2014年4月に一般社団法人化するなど、組織基盤を強化する努力を続けているが、さらなる事業展開のためには経理や広報のスタッフ、高齢者の健康面を考えた栄養管理ができるスタッフが必要とされている。

本助成により、高齢者の体調に合わせた食事メニューを提供するための栄養管理者の育成、資金調達や会計処理の専門性を持つ人材の確保、ホームページなどを活用した広報の強化が期待でき、今後の組織基盤強化につながるものと思われる。

被災地では、仮設住宅などで暮らす高齢者の生活支援や健康面のサポート、再就職が難しい被災女性への支援が継続して重要な課題となっており、本団体の活動の広がりや被災者の生活再建に寄与するところが大きい。本助成がその一助となることを期待したい。

テーマ： 「寄付が集まり、人が集うNPOへ」大改造計画

団体名： 特定非営利活動法人 いわき自立生活センター（福島県いわき市）

主な活動地域： 福島県いわき市

【選考理由】

いわき自立生活センターは、障がい者が地域で自立して市民生活を送ることができるノーマライゼーション社会の実現を目指して、1996年に設立された団体である。東日本大震災後は、救援物資の配布や炊き出しなどを行う一方、「3.11 被災者を支援するいわき連絡協議会」を立ち上げるなど、多くのNPO団体の支援の連携強化も図ってきた。この度、行政からの補助金や銀行からの融資を受けながら、総合的な障がい者向け複合施設を設立することとなり、その建設、運営のためには、内部環境の整備をはじめとする組織基盤の強化と、寄付金の増加が必須の状況である。本助成金は、寄付金集めを含む広報活動の強化および職員の労働環境の整備に充てられる。

これまで社会福祉法人にしか適用されていなかった大規模福祉施設の建設を、いわき市と国の補助を受けて同団体が福島県で初めてNPO法人として手掛けることとなる。非常に大きな責任が伴う事業であるが、本助成を通じて、しっかりと組織基盤を強化し、団体として一層成長することを期待したい。

<継続助成>

テーマ： 被災地における住民交流会活動実施のための主力スタッフの人材育成と認定
NPO法人の取得に向けた事務局体制の強化

団体名： 特定非営利活動法人 サンガ岩手（岩手県盛岡市）

主な活動地域： 岩手県大槌町・釜石市

【選考理由】

サンガ岩手は、震災後に発足し、大槌町や釜石市の被災者を対象に避難所や仮設住宅で傾聴ボランティアや支援物資の提供等の災害緊急支援活動を行い、2012年7月に被災地での居場所づくりを進めるため「手づくり工房おおつち」を開設、内職プロジェクトを通じた被災者の雇用創出と手芸活動を通じた住民交流の場として運用してきた。

助成事業は、「手づくり工房おおつち」におけるこれまでの活動を軸に、1) 被災者の自立生活支援活動、2) 生きがいつくり、3) 仲間づくり、の各重点項目に取り組むとともに、新たに4) 認定NPO取得に向けた活動にも着手し、これらの活動を通じて人材育成と事務局体制の強化を行うものである。

助成3年目となることから今期は、現地拠点の自立的な運営体制を仕上げる意気込みをもって、財政基盤の確立と事務局運営体制の強化に取り組むことを求めたい。工房が、地域に根付いたところのケアも含め「ものづくりと住民交流活動の拠点」として安定的・継続的に運営されることにより、団体が掲げる「つくる」「つどう」「つながる」というテーマで、長期的に被災者の生活自立支援活動が提供されることを期待している。

テーマ： 復興公営住宅における共助型コミュニティ構築と継承を目指した組織基盤強化

団体名： あすと長町仮設住宅共助型コミュニティ構築を考える会（宮城県仙台市）

主な活動地域： 宮城県仙台市

【選考理由】

これまで、「あすと長町仮設住宅共助型コミュニティ構築を考える会」は、仮設住宅および復興公営住宅への移転を見据えたコミュニティづくりに中核となって取り組み、成果をあげてきた。今秋からは、いよいよ復興公営住宅への移転準備が始まり、本団体が目指してきた移転後のコミュニティづくりが本格化する。これまでの経験を生かしながら、仮設住宅～復興住宅へのコミュニティづくりのノウハウが定着化することを期待して、継続支援を決定した本団体の取り組みが「あすとモデル」として、将来にわたって他地域でも役に立つものになることを期待したい。

今後はコミュニティが3つの復興住宅に移転するが、それらのコミュニティを包括していくことは課題もあろう。3年目の助成を通して、移転後の組織体のあり方についても考える機会にしていきたい。

第2期第1回から第8回までの助成対象一覧

<岩手県>

	組織基盤強化テーマ	団体名／代表者名	所在地	助成額
第1回	岩手県陸前高田市気仙町上長部地区〔復耕元年〕おさべまごころの郷づくり等における支援活動基盤強化	特定非営利活動法人 遠野まごころネット 理事長 多田 一彦	岩手県 遠野市	500 万円
第1回	被災者情報支援の強化および組織基盤強化	特定非営利活動法人 夢ネット大船渡 理事長 岩城 恭治	岩手県 大船渡市	500 万円
第1回	岩手県内の新しい公共の担い手育成と発信、県内外のネットワークづくり基盤強化	特定非営利活動法人 いわて連携復興センター 代表理事 鹿野 順一	岩手県 北上市	416 万円
第2回	若者の被災地支援活動および人材を養成するためのNPO基盤強化	特定非営利活動法人 いわて GINGA-NET 代表 八重樫 綾子	岩手県 盛岡市	300 万円
第2回	釜石ママハウス(母子心身ケア施設)の継続的な運営をめざした組織基盤強化	特定非営利活動法人 母と子の虹の架け橋 代表 若菜 多摩英	岩手県 花巻市	430 万円
第3回	被災者が主役の地域復興の実行に向けた中間支援NPOとしての基盤強化	特定非営利活動法人 @リアス NPO サポートセンター 代表理事 鹿野 順一	岩手県 釜石市	436 万円
第4回	大槌・釜石での内職プロジェクトを通じた被災者の雇用創出と居場所づくりの実現を目指した復興支援NPOの基盤強化	特定非営利活動法人 サンガ岩手 理事長 吉田 律子	岩手県 盛岡市	250 万円
第5回	復活の森・再生キャラバン ～団体の自立・自活を目指した人材育成と収益事業の強化	特定非営利活動法人 吉里吉里国 理事長 芳賀 正彦	岩手県 大槌町	300 万円
第5回 【継続】	被災者支援継続に向けたネットワークと協働のまちづくり基盤構築のためのNPO中間支援組織の人材と財政基盤の強化	特定非営利活動法人 夢ネット大船渡 理事長 岩城 恭治	岩手県 大船渡市	200 万円
第6回	施設利用者が生きがい・やりがいを持ち自立して生活出来ることを目指した現地NPOの組織基盤強化	特定非営利活動法人 カトレア会 理事長 山口 和子	岩手県 住田町	266 万円
第6回	陸前高田市における発達障がい児本人支援体制整備と地域理解まちづくり普及事業に取り組む現地NPOの基盤強化	特定非営利活動法人 いわて発達障害サポートセンターええ町づくり隊 代表理事 熊本 葉一	岩手県 一関市	250 万円
第6回 【継続】	大槌・釜石での長期的な生活支援と継続した居場所づくりに取り組む復興支援NPOの基盤強化	特定非営利活動法人 サンガ岩手 理事長 吉田 律子	岩手県 盛岡市	200 万円
第7回	事務局機能の強化および組織運営力の向上による復興支援活動の効率化	特定非営利活動法人 パクト 常務理事 水野 朝紀	岩手県 陸前高田市	210 万円
第7回	陸前高田市における地元女性団体との協働による女性支援センターの運営強化	特定非営利活動法人 まあむたかた 代表理事 荻原 直子	岩手県 陸前高田市	210 万円
第8回 【継続】	被災地における住民交流会活動実施のための主力スタッフの人材育成と認定NPO法人の取得に向けた事務局体制の強化	特定非営利活動法人 サンガ岩手 理事長 吉田 律子	岩手県 盛岡市	200 万円

<宮城県>

	組織基盤強化テーマ	団体名／代表者名	所在地	助成額
第1回	東日本大震災 被災高齢者支援ニーズ調査及び生活再建支援のための基盤強化	特定非営利活動法人 みやぎ宅老連絡会 代表理事 伊藤 壽美子	宮城県 仙台市	270 万円
第1回	浦戸地域支え合い事業基盤強化	特定非営利活動法人 浦戸福祉会 代表理事 中井 豊	宮城県 塩釜市	435 万円
第2回	南三陸コミュニティ復興支援事業 ～地元住民がつながりあえる場の支援力強化ならびに現地組織の自立をめざした組織基盤強化～	特定非営利活動法人 故郷まちづくりナイン・タウン 理事長 小野寺 敏	宮城県 登米市	308 万円
第2回	石巻いきがい仕事づくり事業 ～自立的な事業モデルの確立に向けた組織基盤強化～	ぐるぐる応援団 代表 鹿島 美織	宮城県 石巻市	445 万円
第2回	震災で大切な人を亡くした人々への心のケア活動を通じた生活再建支援のための組織基盤強化	仙台グリーンケア研究会 理事長 滑川 明男	宮城県 仙台市	400 万円
第3回	気仙沼における被災者主体の復興支援が担える地元住民主体のNPOを目指した組織基盤強化	一般社団法人 ボランティアステーション in 気仙沼 代表理事 菊田 忠衛	宮城県 気仙沼市	350 万円
第3回	住民主体の復興住宅提案づくりにおける新たな共助型コミュニティの構築と継承を目指したNPOの基盤強化	あすと長町仮設住宅共助型 コミュニティ構築を考える会 会長 飯塚 正広	宮城県 仙台市	300 万円
第4回	被災した農家の新(進)展開支援に取り組み、地元住民の主体的な運営を目指した現地NPOの基盤強化	特定非営利活動法人 がんばっど!!玉浦 理事長 武田 英之	宮城県 岩沼市	250 万円
第5回	亘理いちごっこコミュニティビジネス創出のための体制強化	特定非営利活動法人 亘理いちごっこ 代表理事 馬場 照子	宮城県 亘理町	250 万円
第5回	石巻において震災支援を継続し、支援者を増加させるための組織基盤強化	一般社団法人 みらいサポート石巻 代表理事 大丸 英則	宮城県 石巻市	240 万円
第5回 【継続】	南三陸コミュニティの経済復興に取り組む地元組織の継続支援と登米コミュニティの再生を目指したNPOのスタッフ・会員・ボランティア・自己資金力の強化	特定非営利活動法人 故郷まちづくりナイン・タウン 理事長 小野寺 敏	宮城県 登米市	200 万円
第6回 【継続】	復興公営住宅における共助型コミュニティ構築と継承を目指したNPOの基盤強化	あすと長町仮設住宅共助型 コミュニティ構築を考える会 代表 飯塚 正広	宮城県 仙台市	200 万円
第7回	「被災地」から「誰もがあきらめずにお出かけできる街」へ ～地域で守る移動困難者の送迎支援組織の基盤育成	特定非営利活動法人 移動支援 Rera 代表 村島 弘子	宮城県 石巻市	218 万円
第7回 【継続】	石巻の地域づくりに継続的に取り組む組織として信頼性の向上を見据えた基盤強化	一般社団法人 みらいサポート石巻 代表理事 大丸 英則	宮城県 石巻市	130 万円
第7回 【継続】	亘理いちごっこコミュニティビジネス継続のための体制強化	特定非営利活動法人 亘理いちごっこ 代表理事 馬場 照子	宮城県 亘理町	130 万円
第8回	被災女性の雇用創出と高齢者支援を目指した現地NPOの基盤強化	一般社団法人 ワタママスマイル 代表理事 菅野 芳春	宮城県 石巻市	250 万円
第8回 【継続】	復興公営住宅における共助型コミュニティ構築と継承を目指した組織基盤強化	あすと長町仮設住宅共助型 コミュニティ構築を考える会 代表 飯塚 正広	宮城県 仙台市	200 万円

<福島県>

	組織基盤強化テーマ	団体名／代表者名	所在地	助成額
第1回	有機農業による「ふくしま」の食と農の再生プロジェクト基盤強化	特定非営利活動法人 福島県有機農業ネットワーク 理事長 菅野 正寿	福島県 二本松市	430 万円
第2回	みんなの笑顔プロジェクト ～福島の子どもの笑顔を守る父母の現地ネットワーク構築～	小国からの笑顔 代表 大波 尚美	福島県 伊達市	358 万円
第2回	支援情報ワンストップサービス化推進のための組織基盤強化	特定非営利活動法人 市民公益活動パートナーズ 代表理事 古山 郁	福島県 福島市	394 万円
第2回	新生ふるさと浪江づくりプロジェクト ～創造的協働復興まちづくりを推進していくための組織基盤強化～	特定非営利活動法人 まちづくりNPO新町なみえ 理事長 原田 雄一	福島県 二本松市	495 万円
第3回	障害児の被災者家族のための継続的なサポート運営を目指したNPOの基盤強化	特定非営利活動法人 ふよう士2100 理事長 里見 喜生	福島県 いわき市	412 万円
第3回	南相馬市リアル情報発信サイトの構築に向けた中間支援NPOとしての基盤強化	特定非営利活動法人 フロンティア南相馬 代表理事 草野 良太	福島県 南相馬市	400 万円
第4回	原発事故避難者(みなし仮設住宅居住者)の相互支援ネットワーク構築を目指した現地NPOの基盤強化	特定非営利活動法人 陽だまりハウス 理事長 大槻 トモ子	福島県 福島市	300 万円
第4回	被災者のエンパワメントと支援団体ネットワークの拠点「イコール・カフェ」づくりを目指した現地NPOの基盤強化	特定非営利活動法人 市民メディア・イコール 理事長 遠藤 恵	福島県 郡山市	250 万円
第4回	いわき地区NPOの継続的な人的コミュニティ構築と戦略的事務局力の強化を目指した中間支援NPOとしての基盤強化	特定非営利活動法人 いわきNPOセンター 理事長 照井 義勝	福島県 いわき市	300 万円
第5回	福島原発避難者の長期支援と団体の自立を目指した人材基盤強化計画	一般社団法人 情報センターFais 代表理事 菅野 芳信	福島県 田村市	180 万円
第5回 【継続】	なみえ希望のまちづくりプロジェクト ～分散する町外のコミュニティをネットワーク化して一つの浪江町としてのアイデンティティを構築するためのスタッフ・会員・NPOの強化	特定非営利活動法人 まちづくりNPO新町なみえ 理事長 神長倉 豊隆	福島県 二本松市	100 万円
第6回	福島県内NPOによる継続的な被災者支援を実現するための情報収集・発信機能の強化に向けた中間支援組織としての基盤強化	一般社団法人 ふくしま連携復興センター 代表理事 丹波 史紀	福島県 福島市	200 万円
第7回	福島の母子が避難先の山形から安心して帰還できるように ～事務局機能の強化と情報受発信体制の構築	山形避難者母の会 代表 中村 美紀	福島県 郡山市	240 万円
第7回 【継続】	東日本大震災後の安心できる地域見守りネットワーク構築のための現地NPOの基盤強化	特定非営利活動法人 陽だまりハウス 理事長 大槻 トモ子	福島県 福島市	150 万円
第8回	「寄付が集まり、人が集うNPOへ」大改造計画	特定非営利活動法人 いわき自立生活センター 理事長 長谷川 秀夫	福島県 いわき市	250 万円

助成件数:47件(新規37件、継続10件) /
助成総額:1億3,703万円(新規1億1,993万円、継続1,710万円)

第 2 期第 1 回から第 8 回までの応募状況と助成状況

第 2 期第 1 回

	岩手県	宮城県	福島県	その他	計
応募件数	7 件	18 件	4 件	2 件	31 件
助成件数	3 件	2 件	1 件	0 件	6 件

第 2 期第 2 回

	岩手県	宮城県	福島県	その他	計
応募件数	7 件	38 件	16 件	12 件	73 件
助成件数	2 件	3 件	3 件	0 件	8 件

第 2 期第 3 回

	岩手県	宮城県	福島県	その他	計
応募件数	13 件	23 件	12 件	12 件	60 件
助成件数	1 件	2 件	2 件	0 件	5 件

第 2 期第 4 回

	岩手県	宮城県	福島県	その他	計
応募件数	6 件	11 件	7 件	5 件	29 件
助成件数	1 件	1 件	3 件	0 件	5 件

第 2 期第 5 回

	岩手県	宮城県	福島県	その他	計
応募件数	18 件	35 件	11 件	9 件	73 件
（新規）	(15 件)	(33 件)	(10 件)	(9 件)	(67 件)
（継続）	(3 件)	(2 件)	(1 件)	(0 件)	(6 件)
助成件数	2 件	3 件	2 件	0 件	7 件
（新規）	(1 件)	(2 件)	(1 件)	(0 件)	(4 件)
（継続）	(1 件)	(1 件)	(1 件)	(0 件)	(3 件)

第 2 期第 6 回

	岩手県	宮城県	福島県	その他	計
応募件数	6 件	12 件	9 件	2 件	29 件
（新規）	(5 件)	(10 件)	(6 件)	(2 件)	(23 件)
（継続）	(1 件)	(2 件)	(3 件)	(0 件)	(6 件)
助成件数	3 件	1 件	1 件	0 件	5 件
（新規）	(2 件)	(0 件)	(1 件)	(0 件)	(3 件)
（継続）	(1 件)	(1 件)	(0 件)	(0 件)	(2 件)

第2期第7回

	岩手県	宮城県	福島県	その他	計
応募件数	12件	27件	18件	7件	64件
（新規）	(11件)	(24件)	(15件)	(7件)	(57件)
（継続）	(1件)	(3件)	(3件)	(0件)	(7件)
助成件数	2件	3件	2件	0件	7件
（新規）	(2件)	(1件)	(1件)	(0件)	(4件)
（継続）	(0件)	(2件)	(1件)	(0件)	(3件)

第2期第8回

	岩手県	宮城県	福島県	その他	計
応募件数	4件	11件	7件	2件	24件
（新規）	(1件)	(10件)	(6件)	(2件)	(19件)
（継続）	(3件)	(1件)	(1件)	(0件)	(5件)
助成件数	1件	2件	1件	0件	4件
（新規）	(0件)	(1件)	(1件)	(0件)	(2件)
（継続）	(1件)	(1件)	(0件)	(0件)	(2件)

第2期第1回～第8回までの合計

	岩手県	宮城県	福島県	その他	計
応募件数	73件	175件	84件	51件	383件
（新規）	(65件)	(167件)	(76件)	(51件)	(359件)
（継続）	(8件)	(8件)	(8件)	(0件)	(24件)
助成件数	15件	17件	15件	0件	47件
（新規）	(12件)	(12件)	(13件)	(0件)	(37件)
（継続）	(3件)	(5件)	(2件)	(0件)	(10件)